

えんとつフェスティバル2006

日 時：平成18年 **10月21日** 土 10時～15時

雨天の場合は、10月22日(日)に順延。 22日雨天の場合は中止。

会 場：小平・村山・大和衛生組合（小平市中島町2番1号）

東大和市駅または玉川上水駅徒歩10分

内 容

- フリーマーケット（約30店舗）
- えんとつミニツアー（清掃工場の見学）
- 模擬店（焼そば・わたあめ・ポップコーン・飲み物 他）
- クイズラリー
- 地域の商店・地元企業の特別出店
- ステージ（和太鼓、ジャズ、ポップスなどを予定）
- えんとつ〇×クイズ
- 参加団体等のブース その他

*内容は、都合により変わることがあります。

主 催：えんとつフェスティバル実行委員会
共 催：連絡協議会、小平・村山・大和衛生組合
後 援：小平市・東大和市・武蔵村山市



赤レンガ遊歩道



会場案内
駐車場はありませんので、ご来場の際は、徒歩、自転車、又は、公共交通機関をご利用ください。

VOICE

編集後記

最近、子供や高齢者が悲惨な事故に巻き込まれるニュースが相次いでいます。その原因のひとつに、近所の目、そこに暮らす人間同士のつながりが希薄になっていることがいわれています。「隣の人は干渉しない」これがスマートな都会暮らしなのかもしれません。「地域力」という言葉が使われるようになりました。「地域力」とは、住みよい地域づくりに向けて、町内会、自治会、NPO、ボランティア団体、企業など地域の方々が連携し、防犯・防災や福祉、環境、子育て、教育など様々な地域課題を解決する力のこと。やはり、地震等の災害時はもちろん、万一の事故や毎日の防犯にも、いちばん頼りになるのは、隣人たちによる助け合いではないでしょうか。

今年も地域のみなさんをはじめたくさんの方々の協力、ご支援を得て「えんとつフェスティバル」開催の準備を進めています。このイベントが、3市の「地域力」の向上に役立てばと考えています。

発行 小平・村山・大和衛生組合
187-0033 小平市中島町2番1号
電話 04-2341-4345
平成18年9月発行
小平・村山・大和衛生組合は、小平市・東大和市・武蔵村山市、3市の市民生活から出るごみを処理する清掃工場を、管理運営する一部事務組合（特別地方公共団体）です。

小平・村山・大和衛生組合

えんとつ

No.19

小平・村山・大和衛生組合は、3市のごみを処理している清掃工場です。



10/21土 えんとつフェスティバル 2006開催

《No.19主な内容》

- ・「搬入ごみ」減少から横ばい傾向に
- ・「3市共同資源化等に関する調査」を進めています
- ・部分更新事業の進捗状況
- ・見学者室をリニューアルしました
- ・チームえんとつ発足



「搬入ごみ」減少から横ばい傾向に

ごみの減量にご協力を

小平市・東大和市・武蔵村山市から搬入されたごみの量は、平成10年度までは減少していましたが、11年度以降はほぼ横ばいの状況となっています。市民1人、1日当たりのごみ排出量の推移を下表に示しました。平成12年に制定された「循環型社会形成推進基本法」は、新たに「循環資源」という概念が取り入れられ、有用な廃棄物の循環的な利用を図ることが規定されています。平成15年に国が示した「循環型社会形成推進基本計画」では、平成12年度に比べ20パーセント減とすること、また、約90パーセントの人たちが廃棄物の減量化や循環利用、環境に配慮した製品を選んで購入（グリーン購入）の意識を持ち、約50パーセントの人たちがこれらについて具体的に行動するようになることなどを目標にしています。

限りある資源を大切に、美しい地球環境を次代に引き継いでいくことは、私たち一人ひとりにとって、大切な使命となっています。そのために、まず、身の回りのことから行動を起こしてはどうでしょう。皆さんは、持続可能な循環型社会づくりに重要な役割を担っています。例えば、1人1日50グラムのごみが減るとどうなるでしょう。50グラムは、空のペットボトル（1リットル）1本分です。組合には33万人分のごみが持ち込まれますので、年間約6,000トンのごみが減ります。清掃車（2トン車）に換算すると3,000台分です。

ごみを減らすには

○私たちの暮らしを、循環を基調としたものに！
身近な自然と親しみ、四季の移り変わりを感じるなど自然と共生した暮

らしへ。そして、ワンウェイ型から循環を基調とした生活様式を考えてみよう！

◇使い捨てになるものは買わない！ ◇過剰包装は断る！
◇買い物袋を持参する！ などなど。

○ものづくりなどに関する意識と行動を変えてみよう！

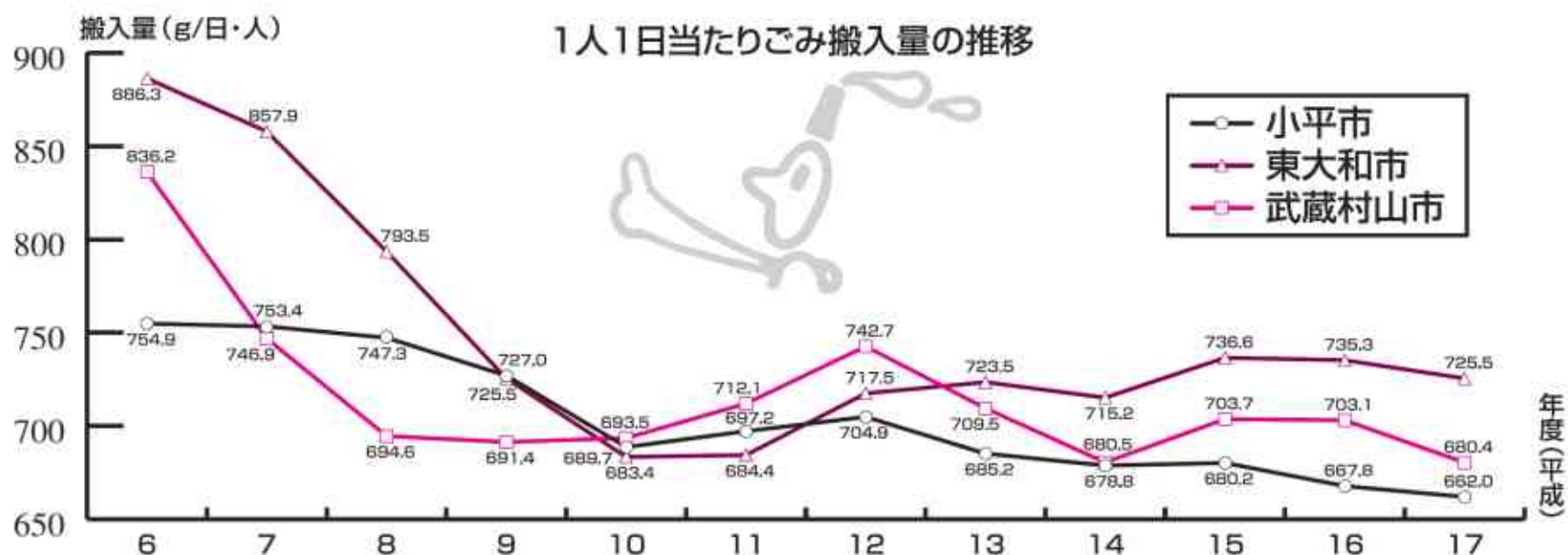
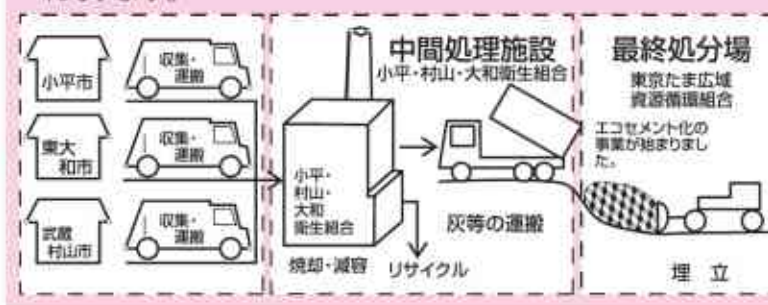
「食」「もの」「サービス」私たちは、これらのものの作り手でもあります。

お店や工場、オフィスで、作り手としても環境へ配慮した行動を一層進めることも大切です。

日常生活を見直して、ごみを減らすことができれば、地域もまちも輝いてくるのではないのでしょうか。

私たちのごみはどこへ？

私たちのごみは、次のように市と組合が分担し処理しています。ごみ処理の流れの中間にある組合は、「中間処理施設」と呼ばれています。



○平成17年度ダイオキシン類の測定結果

測定結果は、全項目が基準値以下でした。

焼却施設

測定項目	排出ガス	焼却灰	ばいじん(飛灰)	ガス冷却ダスト	排水	汚泥
(単位)	mg-TEQ/m ³	mg-TEQ/g	mg-TEQ/g	mg-TEQ/g	mg-TEQ/L	mg-TEQ/g
基準値	1	3	3	3	10	3
3号炉	測定日:平成17年6月17日	0.025	0.010	0.43	0.11	
4号炉	測定日:平成17年10月21日	0.021	0.0030	0.23	2.1	0.0061
5号炉	測定日:平成17年11月22日	0.014	0.014	0.36	0.10	

注(1)測定結果は、コプラナー-PCBを含んだ値です。
注(2)1mg(ミリグラム)は、10倍分の1グラムです。
注(3)1mg(ピコグラム)は、1兆分の1グラムです。
注(4)TEQは、毒性等量のことです。ダイオキシン類の量をダイオキシン類の中でも最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ダイオキシンの毒性等量に換算した数値です。
注(5)1mg(ミリグラム)は、1兆分の1グラムです。換算方法は、換算係数1.01をかけた値に換算した数値です。
注(6)焼却灰(ばいじん・飛灰)、ガス冷却ダスト及び排水の基準は、セメント固化処理の判断基準です。
注(7)焼却灰の集じん装置は、バグフィルターです。

周辺環境大気

調査地点 注(8)	大気環境基準 注(9)	測定期間	17年度平均
東大和市立第二小学校		H17.8.18~8.25	0.031
小平市立中野町地蔵センター		H18.2.1~2.8	0.021
小平市立上水新町地域センター			0.019
立川市立幸小学校			0.027
立川市立第六中学校 注(10)			0.025
立川市立若葉小学校			0.027

注(8)衛生組合では、清掃工場周辺の大気中のダイオキシン類濃度の測定を立川市清掃工場と連携して夏季と冬季の年2回実施しています。
注(9)大気環境基準は、ダイオキシン類対策特別措置法(平成12年1月15日施行)に基づく大気の大気汚染に係る環境基準です。
注(10)毎年測定を行っている立川市立第六小学校が測定期間中に工事を行っていたため、隣接の立川市立第六中学校に調査地点を変更しています。
注(11)当初の測定期間中に全員の電源が正常に作動しなかったため、平成18年2月10日から同年2月17日の期間において再測定しています。

○小平・村山・大和衛生組合議会報告

小平・村山・大和衛生組合議会において、次の議案が議決されました。
平成18年5月臨時会(5月31日開催)

議案番号	件名	説明	議決結果
第7号	小平・村山・大和衛生組合監査委員の選任につき同意を求めることについて	この審議結果により小平市監査委員の舩川博昭氏が7月1日付で監査委員に選任されました。	同意
第8号	専決処分(小平・村山・大和衛生組合議員の給与に関する条例等の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	4月1日に「調整手当」が「地域手当」に変更されました。	承認
第9号	平成18年度小平・村山・大和衛生組合一般会計補正予算(第1号)	「(仮称)足湯施設整備工事」に関連する補正です。	前案可決

○情報公開の状況

組合では、情報公開制度により、組合が保有する文書等の情報公開をしています。平成17年度は、請求がありませんでした。

○組合規約の変更について

組合規約の変更が、平成18年5月に東京都知事から許可されました。組合の共同処理する事務に、「ごみ処理に伴う余熱利用施設の設置及び運営に関すること」が新たに加われました。現在、余熱を利用した「足湯施設」を、組合敷地東側の玉川上水沿いに設置する準備を進めています。竣工は来年3月を予定しています。

「3市共同資源化等に関する調査」を進めています。

1「背景と目的」

私たちの豊かな環境は、50年後、100年後の人々のものでもあります。

この環境をより豊かなものとして残していくには、資源やエネルギーの使い方を見直し、これまで以上に大切にしていかなければなりません。私たちの暮らしの中から出るごみは、この資源やエネルギーを使用して作られています。

これまでも、ごみを減らす取り組みは、小平市、東大和市及び武蔵村山市がそれぞれ行ってきました。しかし、全国的にもリサイクルの進んでいる3市で、さらにごみ減量を図るためには、3市の連携が必要です。

そこで、衛生組合で3市共同で行う資源化等(=減量化)について、調査をすることになりました。

2「調査の内容」

(1)基礎調査

まず、3市のごみ(資源を含む)が、現在どのように流れ、どのように資源化あるいは処理されているのかを調べます(現状把握)。次に、ごみ量と人口の将来予測、ごみ減量施策などを調べ、ごみの種類ごとに将来の量と流れを予測します(将来予測)。

(2)代替案の作成

予測されたごみをどのように減らしていくのか、その方法を検討します。ごみを減らす方法を選択するため、まず、考え方を整理します(将来ビジョンの設定)。次に、この考え方に基づいて、ごみの種類ごとに減量方法を組み合わせ、全体として有効な方法を検討します(ごみ減量シナリオの検討)。最後に3市共同で行う事業の範囲を設定し、複数のごみ減量シナリオ案を作成します(代替案の作成)。

(3)代替案の評価

ごみ減量シナリオ案を評価して、有効で実現性の高い3案程度に絞り込み、全体計画案とします(全体計画案)。

(4)報告書の取りまとめ

計画案ごとに関係する資料を整理して、報告書として取りまとめます。

3「調査報告書」

3市と組合は、平成19年度から、この報告書に基づいて、ごみ減量対策を検討します。

また、報告書の内容は、この広報「えんとつ」や組合ホームページで紹介する予定です。



部分更新事業の進捗状況

衛生組合では平成15年度から、ごみ処理施設の安定稼働を基本方針とし、施設性能の改善・環境負荷の低減・安全性の向上を目指した、部分更新施設整備工事を進めてまいりました。

平成18年度はこの事業の最終年度となり、昨年度から2か年の継続事業で「ごみ焼却施設設計装設備更新工事」を実施しています。

○ごみ焼却施設設計装設備更新工事

本工事は、①ごみ焼却施設の信頼性の向上 ②施設の運転及び維持管理業務の省力化 ③施設見学者等への普及啓発機能の充実を目的としています。内容は次の6項目で構成されています。

1 計装設備更新工事

3炉2施設でそれぞれ行っている監視操作(運転管理)を、4・5号ごみ焼却施設の中央制御室で一体的に行えるシステムに更新します。また、排ガスの状態、炉内温度などの操作情報は見学者室においても確認できるようになります。

2 ITV設備改修工事

組合構内及び施設の操作状態を監視するITV(工業用テレビ)設備を増設、改修機能の充実を図ります。見学者室においても映像を見ることができます。

3 建屋改修工事

3号ごみ焼却施設操作室、4・5号ごみ焼却施設中央制御室及び同施設3階多目的室等の改修を行います。

4 電光表示装置設置工事

施設の操業情報や環境イベントなどのお知らせを表示するために、屋外電光表示装置を設置します。

5 構内電話設置工事

施設の維持管理を効率的に実施するために、構内内線電話を充実します。

6 関連設備機器工事

各焼却炉に排ガスばいじん濃度計を設置する工事、老朽化した受変電設備を更新する工事などを行います。

見学者室をリニューアルしました!!

新たにプロジェクタと80インチ大型スクリーンを備えた見学者室が完成しました。この大型スクリーンに説明用ビデオや清掃工場の運転状況を映し出すことができます。是非、見学にお越しください。



プロジェクタと80インチ大型スクリーン

みんなでキレイをやりたい「チームえんとつ」発足

衛生組合では、4月より管理職を中心とした「チームえんとつ」を発足しました。

毎週木曜日の午後は、緑道や付近を清掃し施設周辺的美観の向上に努めています。



緑道で活動する「チームえんとつ」

問い合わせ先

○ごみの減量やし方について

小平市役所ごみ減量対策課 電話042-346-9535(直通)
東大和市役所ごみ対策課 電話042-563-2111(代表)
武蔵村山市役所環境課 電話042-565-1111(代表)

○ごみ処理施設の見学や質問について

小平村山大和衛生組合 電話042-341-4345